

餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺

〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187

納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187

恵亮院 TEL/FAX 086-942-3788

本乗院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823

吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789

定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490

明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069

圓乗院 TEL 086-942-2356

ホームページアドレス <http://www.yokeiji.com/>

積善

題字 第241世天台座主 玄深師(恵亮院藏)

第十四回上寺山両詣り (迎春ライトアップ)

豊原北島神社と餘慶寺が隣接する上寺山では、行く年に感謝し、来る年の平和を願って、神様と仏様の両方にお詣りできることから「上寺山両詣り」と名付けて、いろいろな迎春行事を行います。



餘慶寺では古いお札のお焚き上げ、除夜の鐘撞き、八角堂での楊漵頂(お清め)、薬師堂での護摩祈禱などがつとめられます。特に新年が厄年に当たる方は、護摩祈禱での厄除けをおすすめいたします。

上寺の迎春ライトアップもおかげさまで第十四回目を迎えることができました。豊原北島神社の美しい屋根と深い森、餘慶寺の篝火、薬師堂前に広がる遊慶の庭の石組み、そして西坂のろうそくが、境内により一層幻想的で荘厳な雰囲気醸し出すことと思います。恒例となりましたスタンプラリーに、福もちに福袋、願い事を書いた白い風船を夜空へ飛ばすカウントダウンイベント...皆様に楽しんでいただけたら幸いです。あたたかい無料接待やフリーマーケットの年越しそばなどもあります。詳しくは配布しておりますチラシをご覧ください。



初詣は上寺山餘慶寺へお詣り下さい。

餘慶寺 迎春の行事

お焚き上げ法要
(東向き観音石像前)
十二月三十一日(火) 二十一時

古いお札、だるま、お守りなどを過ぎゆく一年に感謝の意をこめてお焚き上げいたします。

除夜の鐘つき(餘慶寺鐘楼)
十二月三十一日(火)

二十三時四十五分

夜の鐘撞きです。先着一〇八名の方には「鐘撞きの証」をお渡しいたします。県指定重要文化財の餘慶寺の鐘で、新年を迎える除夜の鐘を撞きましょう。

修正会(餘慶寺本堂)

一月一日(水)・二日(木) 十時
一月三日(金) 八時

お正月のお勤めです。新年を迎え、上寺山と檀信徒の皆様の一二年間の家内安全、無病息災をお祈りする大般若転読法要を行います。

薬師護摩供

十二月三十一日(火)

二十一時〜翌一時半
一月一日(水)・二日(木) 十一時〜十六時

楊漵頂のお清め

十二月三十一日(火)

二十一時〜翌一時半
一月一日(水)・二日(木) 十一時〜十六時

各院からのお知らせ

恵亮院より

毘沙門天王縁日護摩祈禱
(於 恵亮院毘沙門堂)
毎月三日 午前十時

本乗院より

写経会(於 本乗院客殿)
毎月第三日曜日
十一月〜三月 午前七時

定光院より

大聖歡喜天縁日(於 定光院)
毎月十五日 早朝より
※病氣平癒等のご祈禱は随時受付してあります。

餘慶寺からのお知らせ

薬師縁日(於 薬師堂)
毎月八日 午前十時
(八月はありません)
護摩供養をしています。
ご祈禱のお申し込みは納経所へお願いします。
観音縁日(於 本堂)
毎月十八日 午前八時
みんなで観音経をあげます。
お経本は本堂にありますので、お気軽におまいりください。

幸先のよいお清めや厄除けのご祈禱をどうぞ。

薬師堂からのお知らせ

薬師堂の護摩供養

十二月三十一日(火) 二十一時〜翌二時半
一月一日(水) 二日(木) 十一時〜十六時

年末年始の両詣りの際に厳修します。ご祈禱のお申し込みは納経所へお願いいたします。両詣りの際には薬師堂にて受け付けております。

ご祈禱料は、五千元、三千元。添え護摩木は三百円です。
なお大晦日〜元日にご祈禱を受けた方へは、福もちをお渡しします。(数に限りあり)

願い事としては...

- 家内安全 交通安全 商売繁昌
- 社運隆昌 学業成就 試験合格
- 無事成長 心身健全 安産成就
- 子宝授与 良縁成就 旅行安全
- 心願成就 諸芸上達 病氣平癒
- 身体健康 厄難消除 息災延命



開運招福 厄除 他



楊濯頂のお清め (八角堂)

十二月三十一日(火) 二十二時〜翌二時半
一月二日(水)・三日(木) 十二時〜十六時

春の芽吹きを象徴する楊の枝を使って千手観音様にお供えした清らかな霊水を皆様の頭上に注いで清めて頂きます。本堂へご参拝の後には、八角堂へお詣り下さい。お清めを受けられた方全員に御守りカードを謹呈いたします。



平成26年 年回表

年回	寂年
一周忌	平成二十五年
三回忌	平成二十四年
七回忌	平成二十年
十三回忌	平成十四年
十七回忌	平成十年
二十三回忌	平成四年
二十五回忌	平成二年
二十七回忌	昭和六十三年
三十三回忌	昭和五十七年
五十回忌	昭和四十年

平成 26 年 厄年一覧

男性			女性		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
24歳 平成3年生	25歳 平成2年生	26歳 平成元年生	18歳 平成9年生	19歳 平成8年生	20歳 平成7年生
41歳 昭和49年生	42歳 昭和48年生	43歳 昭和47年生	32歳 昭和58年生	33歳 昭和57年生	34歳 昭和56年生
60歳 昭和30年生	61歳 昭和29年生	62歳 昭和28年生	36歳 昭和54年生	37歳 昭和53年生	38歳 昭和52年生
歳はかぞえ歳です。			60歳 昭和30年生	61歳 昭和29年生	62歳 昭和28年生

納経所でお手伝い下さる方を募集いたします。

日曜、祝日やお寺で特別な行事がある時に、納経所(餘慶寺会館)に来て下さる方を数名募集いたします。ご奉仕いただく時間帯は午前八時〜午後五時で、仕事内容は、納経受付、参拝者の対応、電話受付、お守りなどの授与などです。お問合せは恵亮院(086-942-1378)まで。

古いお札、だるま、お守りを
お焚き上げ
いたします。
年末になりましたら
本堂へ
お持ちください。

ひとくち法話

院号のお話し

お葬式をすると戒名を授かります。これは亡くなつた方に出家してお坊さんになつていただき、それから引導を渡すという意味がお葬式にあるからです。

戒名に院号というのがあります。じつは上寺の住職はそれぞれ院号を持っています。つまり本乗院住職は本乗院が院号です。

餘慶寺のお堂でお勤めをする僧侶の住居で、塀のある立派なかまへの建物のことを「院」と呼びます。

戒名に院号をお授けするのは、いわばお寺からの「のれん分け」とでもいいたいでしょうか、同じ上寺の僧侶として居場所を認めていますという意味があります。

院号はたとえば総代を永年勤められた方とか、お寺に功績のあつた方にお授けするべきものでした。

最近ではお寺に功績が無くても社会的立場などから院号が欲しいというご要望もあります。そういった方には院号料としてお供えをしていただき、お寺への功績とさせていただくということを習慣的にするようになりました。こういったお供えは上寺では各院それぞれかもしれませんが、お堂の営繕や仏具修繕などに使わせていただいています。



無病息災の福もちや甘酒の接待もあります。

上寺の森を育てる会

里山の珍味 食べられる木の実と有害動植物

その② 有害動植物

里山に親しむにあたり、食べられる木の実や山菜など、山の幸もある反面、気をつけて欲しいことは、ウルシ・ヌルデ・ハゼノキなど「かぶれる木」がかなりあるということです。また、シキミ・アセビ・ネジキなど「有毒樹木」もあります。キョウチクトウ（写真 大気汚染に強いいため、道路の緑化に植えられていた）の例では、不注意に近くにある枝を折ってバーベキューの串に使ったことから7人の死者を出したという外国事例もあるとかがです。

わからない植物を山菜のつもりで口に入れたり、無造作に茂みに入ったりしないでマムシがいなか、スズメバチ（最も恐ろしいオオスズメバチは土の中に巣を作っている）はいないか確かめながら山に入つて頂きたいものです。

里山の珍味を味わったり、樹木名を知ることが里山への親しみを増すことの近道です。



新年も皆様にとって良き一年でありますように。

十三仏について〜普賢菩薩〜

普賢菩薩（四七日）

四七日の仏さまは普賢菩薩さまです。白い象の台座だいざの上に乗っておられる姿をよく見ます。

お釈迦さま（二七日）を真ん中にして、両脇にお供として文殊菩薩さま（三七日）と普賢菩薩さま（四七日）が並ぶことは前号で書きました。

文殊菩薩もんじゅぼさつさまは智慧の仏さまですが、普賢菩薩さまは行の仏さまです。

頭で理解することと、それを実践することどちらも大切です。これを「解行双修げぎょうそうじゅう」といいます。

みなさんは何か新しいことをはじめようと思った時、頭で考えているけれども実際に行動するのが面倒になってしまったり、はじめる勇気が出なかつたりしたことがありますか？

そんなときに気持ちを奮い立たせて下さるのが普賢菩薩さまなのです。



よけいじ寺子屋だより

会場 餘慶寺会館（十四時〜）

ご報告

先日の寺宝展の際は、就実大学教授の土井通弘先生をお招きし、『薬師信仰と餘慶寺の薬師像』という題目で講演をしていただきました。大勢の聴講者が、薬師信仰の歴史や薬師像の特徴など様々な興味深い話を真剣に聞き入っておられました。（写真）

餘慶寺では、今後もさまざまな講座を通じて、少しでも皆様の人生のお役に立てればと願っております。

ご案内（予定）

☆『備前西大寺と近郊の人物〜歴史を物語る 第一回〜』

十一月十四日（土）

講師 西大寺文化資料館名誉館長 中村美佐雄先生

☆『お寺の行事について（2）』

十一月十一日（土）

講師 吉祥院住職 大石恵海師

☆『備前西大寺と近郊の人物〜歴史を物語る 第二回〜』

十一月十八日（土）

講師 西大寺文化資料館名誉館長 中村美佐雄先生

☆『天台宗について』

二月一日（土）

講師 本乘院住職 小林周伸師

☆『題未定』

二月未定

講師 岡山県美術館学芸課長 中田利枝子先生

☆『お葬式について』

三月一日（土）

講師 本乘院住職 小林周伸師

※聴講無料です。お誘い合わせのうえ、ご参加下さい。



編集後記

ご開帳からもう一年が過ぎました。「時間」というものは、過ぎるまでは長く感じますが、過ぎてしまえばあっという間だなど、最近改めて感じるようになりました。来年は、今年よりも「時間」を大切にしていきたいものです。

来年も、餘慶寺並びに積善をどうぞよろしくお願いたします。